

# 退職者連絡会

第16号  
(発行・編集)  
JR九州労組  
退職者連絡会  
鹿児島地区本部

## 吉松地区沿線新春交流会 和気あいあいの中、成功裡に終わる

去る一月三十一日、午後二時より恒例の吉松地区沿線居住者の新春交流会が吉松駅前の一轟で開催されました。当日は地元を含め沿線から十四名が参加、久木元繁地本幹事の司会ではじまり、地区本部を代表して、中村紘一会長が挨拶「暴走する安倍政権に歯止めするためにも、7月参院選の前哨戦、鹿児島市議選の推薦候補の必勝を期そう」と述べ、また吉松地区の先進的な組織拡大についても感謝の意が表明されました。引き続き、橋本義嗣湧水町議(JR九州労組議員団)が挨拶「栗野町と合併後、吉松駅前の開発が遅れていたが、ようやく吉松駅前開発計画が進みつつある。吉松の活性化のために、尽力を尽くしたい」と決意



が述べられました。昨年四月の鹿児島県議選に初当選した向井たかまる氏(高教組)が挨拶し、県議選の御礼と参院選、県知事選等への協力要請が行われました。地元の久木元地本幹事より、退職者連絡会の年間行事や全交運共済への加入促進等についての説明の後、懇親会に移り、中村会長の音頭で乾杯し、歓談に入りました。近況報告を兼ねて自己紹介もあり、それぞれの立場で趣味

の報告など、終始和やかな雰囲気の下、来年の再会を誓い合っている十八時散会しました。

### 出水地区で ゴルフ交流

去る二月十五日、出水地区のゴルフ交流会を出水GCで開催しました。



当日は寒波の到来で、時折小雪交じりの下、地区本部役員及び地元会員ら九名が参加し、競技を行いました。月曜日は完全セルフで午後五時までは回り放題、格安の五千円ということもあり、年金生活者にはありがたいセルフプレーです。競技は美技などシ

ニアの持ち味を存分に生かしたプレーを連発。楽しいゴルフを満喫しました。午後六時から駅近くの居酒屋で懇親会を行い、ゴルフに参加できなかった会員も合流し、中村紘一会長の日頃の協力と参加への感謝の言葉が述べられ乾杯。近況報告等を行いながら、昔を語りい和やかなひと時を過ごし、散会となりました。

### 県高退連第二 二回定期総会 終わる

去る二月二十九日、鹿児島県高齢・退職者団体第二十二回定期総会が九州労働金庫鹿児島県本部五階ホールで開催されました。当日は毎年恒例となつている新春講演会が総会前段で行われ「憲法をめぐる最近の情勢」をテーマに、鹿児島大学法学部の小栗実教授を招き、学習会を行いま

した。特に「一万二千人を超す憲法学者・研究者の反対を押し切り、安保関連法を自民・公明等らが強行採決で成立。立憲主義を否定し、専守防衛の原則を崩し、戦争に参加できる危険な国づくり、憲法9条改悪への動きなど安倍内閣の暴走は止まることを知らない。ストツプ暴走は、7月の参院選での勝利しかない」と教授は力説されました。その後、休憩を挟み、十二時三〇分より各加盟組織の代議員、加盟組織の代議員、役員、来賓ら九〇名が出席。当連絡会からも4名が出席しました。まず幹事会を代表して、森崎晴志会長(自治労)が挨拶「憲法改正等の動きは加速し、戦争政策の道を突き進むものとして、低所得者、年金生活者は困窮している。平和なくして社会保障はない。安心して暮らせる社会実現を」と訴

えられました。その後、来賓の森田周一県連合会長(私鉄)、野間たけし衆議員、菅井退連本部事務局長、藤田太一民主連代表、東幸也県労金本部長、梶原全労済専務執行役員らが激励と連帯の挨拶。平野功事務局長(UAゼンセン)が二〇一五年度経過報告を行い、引き続き決算報告のあと承認。二〇一六年度活動方針案及び予算案が提起され、若干の質疑応答後、満場一致承認されました。役員改選では、森崎晴志会長が退任し、新会長に二牟礼正博氏(前県議・自治労)が選任されました。

### 編集後記

今年7月参院選、その前哨戦の鹿児島市議選、市長選、知事選と政治決戦の年です。改憲を許さず推薦候補の必勝に向けて、現職・退職者一丸となり闘い抜こう(事務局・TM)